

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 16 日現在

機関番号：17301

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2014～2016

課題番号：26670923

研究課題名(和文) 携帯端末を利用した正確な看護業務評価による看護業務改善サイクル構築に関する研究

研究課題名(英文) An evaluation and consideration of accurate nursing duties using the mobile

研究代表者

岡田 みずほ (OKADA, Mizuho)

長崎大学・病院(医学系)・技術職員

研究者番号：90596561

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,800,000円

研究成果の概要(和文)：看護業務の実態を正確に把握するため、調査用ツールを開発した。さらに、入力データに基づく看護業務評価を実施した。その結果、開発したツールでのミス登録発生件数は(30/4535件)0.66%だった。また、登録データを直接看護業務、看護記録関連業務、左記の二業務以外に分けて比較したところ、直接看護業務・看護記録関連業務以外の業務41.5%、直接看護業務35.7%、看護記録関連業務22.8%だった。

研究成果の概要(英文)：I developed the tool for the investigation to grasp the actual situation of nursing duties exactly. And I carried out the nursing job evaluation based on input data. As a result, there was little misregistration of the person using the developer tool. In addition, I distributed it whether I was, and it pointed out nursing duties and compared it. The care duties to offer to the patient directly performed 35.7%, care duties 41.5% who did not contribute it to the patient directly, duties 22.8% of the nursing record.

研究分野：基礎看護学

キーワード：看護業務 タイムスタディ調査 調査用携帯端末 標準化

表2 実施行為別の入力回数と1回当たりの所要時間

分類区分	小項目名称	データ個数	1回当たりの継続時間(秒)
看護師間の伝達 情報共有	看護師間の伝達 情報共有	745	3950
記録	情報の整理 (アセスメント入力)	185	11734
診療・治療の介助	病室訪問	164	7348
与薬	与薬 到着確認、処方確認から投薬まで)	151	11439
患者への連絡	患者への連絡	87	7522
看護管理業務	看護管理業務	74	1645
医師への報告	医師への報告	66	4065
測定	バイタルサイン (体温、脈拍、呼吸、SPO2 血圧)	65	16323
記録	経過記録	55	12043
電話対応	電話対応	46	5034

さらに、総入力件数(4535件)のうち、1秒以内に次の業務が登録されたものをミス登録して確認したところ、発生件数は30件で全体の0.66%だった。

「入退院ケア」「安楽」「測定」などの分類区分をさらに、「直接看護業務」「看護記録関連業務」「左記の二業務以外」に分けて、総業務所要時間に占める割合を比較したところ、「直接看護業務・看護記録関連業務以外の業務」において割合が最も高く、54,026秒(41.5%)、次いで「直接看護業務」46,449秒(35.7%)、「看護記録関連業務」29,593秒(22.8%)の順だった(表2)。

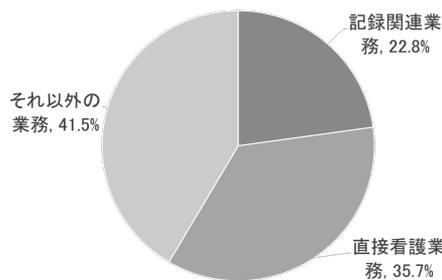


図2 業務区分別でみた所要時間比較

(3) 同一項目を用いた看護業務量変化

2010年から実施している入院時看護業務29項目について、本調査実施前後での所要時間について検証した。その結果、2010年には222.5分かかっていたものが、2016年には、93分まで短縮していた。これは、タイムスタディ調査を継続的に実施していく中で、看護記録業務に要する所要時間の長さが問題視され、それを改善するために、大幅な看護記録方式の改編を行う組織的な活動を実施できたためである。

加えて、看護補助者との業務分担や、メディカルサポートセンターとの入院時業務の分担を行ったことで、看護記録以外の業務時間も大幅に短縮できたものと考えられる。

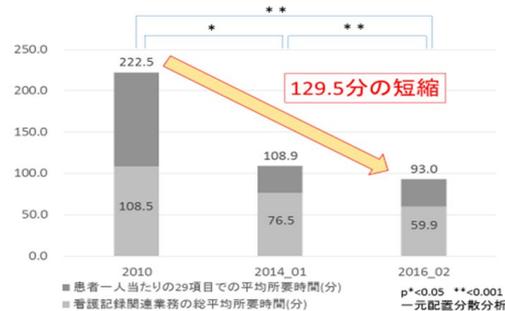


図3 入院時看護業務29項目の所要時間の推移

(4) 今後の展望

本研究では、他計式によるタイムスタディ調査を簡便かつ精度が高いデータとして使用できるところまでできたと考える。これまで明らかにできなかった看護業務の詳細な業務内容及びその所要時間を明らかにできた意義は大きい。また、これまで手作業で行っていた調査が、専用デバイス端末を開発することにより、データの精度を向上できたと考える。これにより、現在の看護現場における課題が明確となり改善に向けた対策立案が容易に実践できた。これから、ますます医療現場は煩雑化することが予想されるが、常に現状を可視化し、タイムリーに改善活動へつなげることができる本研究手法は、今後様々な医療現場で活用可能と考える。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 1 件)

岡田みずほ,小淵美樹子,佐田明子,斎藤美保,岡田純也,松本武浩:電子カルテ採用病院における入院時看護業務の現状と課題,日本医療マネジメント学会雑誌第16巻第1号,2015.査読有

〔学会発表〕(計 5 件)

岡田みずほ,貞方三枝子,小淵美樹子,後田実知子,松尾理香子,西口真由美,中村裕子,萩原絹子,廣瀬弥幸,松本武浩:長崎大学病院の入院時看護業務量の経年変化の評価,日本医療情報学連合大会,2016年11月21~23日,パシフィコ横浜,神奈川県,横浜市

岡田みずほ,貞方三枝子,岡田純也,松本武浩:携帯端末を使用した認証業務の現状,2016年4月22~23日,日本医療マネジメント学会,福岡国際会議場,福岡県福岡市

岡田みずほ,西口真由美,斎藤美保,江頭あや子,貞方三枝子,小淵美樹子,後田実知子,伊藤真由美,一橋了介,宮崎望弥,松本武浩,本多正幸,萩原絹子:電子カルテ時代の新たな看護業務のあり方,平成27年度大学病院情報マネジ

メント部門連絡会議,2016年1月28~29日,
ホテルニュー長崎,長崎県長崎市

岡田みずほ,松本武浩,西口真由美,貞方三枝子,岡田純也,西村拓一,本村陽一,佐藤 洋,大山潤爾,本多正幸:携帯端末を利用した正確な看護業務評価に関する研究 参加観察型タイムスタディ調査による評価,第35回日本医療情報学連合大会,2015年11月1~4日,沖縄コンベンションセンター,沖縄県宜野湾市

岡田みずほ:変革期を迎えた大学病院看護部の課題 看護業務の「可視化」に向けた取り組み,平成26年度大学病院情報マネジメント部門連絡会議,2015年2月11~13日,岐阜グランドホテル,岐阜県岐阜市

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕

ホームページ等 特記事項なし

6. 研究組織

(1)研究代表者

岡田 みずほ (OKADA, Mizuho)
長崎大学・病院(医学系)・技術職員
研究者番号: 90596561

(2)研究分担者

松本 武浩 (MATSUMOTO, Takehiro)
長崎大学・医歯薬学総合研究科(医学系)・
准教授
研究者番号: 20372237

岡田 純也 (OKADA, Junya)
活水女子大学・看護学部・教授
研究者番号: 70315266

本村 陽一 (MOTOMURA, Yoichi)
国立研究開発法人産業技術総合研究所・人
工知能研究センター・研究員
研究者番号: 30358171

佐藤 洋 (SATO, Hiroshi)
国立研究開発法人産業技術総合研究所・人
間情報研究部門・研究員
研究者番号: 10260423

大山 潤爾 (OYAMA, Junji)
国立研究開発法人産業技術総合研究所・ヒ
ューマンライフテクノロジー研究部門・研
究員
研究者番号: 00635295

西村 拓一 (NISHIMURA, Takuichi)
国立研究開発法人産業技術総合研究所・人
工知能研究センター・研究員
研究者番号: 80357722

(3)連携研究者

なし

(4)研究協力者

なし